

B. B. キングの思い出ばなし

西山和宏

BBキングが死去したとは少し驚きました。とっくに亡くなっていると思っていました。

BBキングの店というのがニューヨークのタイムズスクエアの近くにあります。7年前に、家族3人で行きましたので今もあると思う。小さなステージがあってバンド演奏があり食事ができる店でした。



ホテルから予約を入れて、タイムズスクエアに面したマリオットから歩いて10分ほどで着いた店は予約の必要がないほどテーブルはガラガラ。早く着いたせいか4人編成のバンドパーソン（女性1人）がせっせと楽器をセッティング中。



コルク栓ではない安めのワインをとって食事をほぼ終えたころ演奏が始まった。相変わらずテーブルはガラガラ。

我がファミリーは、ステージの正面、真ん中に陣取った。

演奏の休憩になるとバンドマンが、我々のテーブルにやってきてジャズは好きか、ニューヨークにはよく来るのかなど話しかけた。

演奏中に折れたスティックを娘にくれたが、新しいのもくれた。ギター用のピックもくれた。

その日はウィークデーであった。次の演奏が始まると、客席から立ち上がってテーブルに上がる男がいた。リーダーがバンド仲間であることを紹介し、一緒に演奏した。そのような人たちが入れ替わり立ち代わり登場した。なるほど、客の入りは悪くても場所はブロードウェイ、看板はBBキング、そのような店での演奏は、彼らにとって、楽しいひとときであったろう。

以前、ニューヨークで、セントラルパークもかなり、上の70丁目あたりにジャズを聴きに行ったことがあった。

仕事を終えて、同僚と2人で、タクシーで乗り付けると、着いたところの辺りは真っ暗、本当にここでよいのかと、運転手に聞かれたが、店の真ん前、店名に間違いはない。

店の入り口に立っていた（暗くてよくは見えなかったが）薄汚れ痩せた黒人に「ファイブ・ダラー」と言われたので、1人5ドルずつ渡して中に入った。

ビールのつまみに旬の物といわれるソフトクラブのフライをとった。
さほどうまいものではなかったが、店の雰囲気はよかった。
昔、ニューヨークのソフトクラブについて書かれたエッセイを常盤新平の翻訳で
読んだことがあった。

日本人の若者に声をかけられた。彼は毎晩のように、ここにくるといふ。
月曜～金曜の演奏者はギャラなしだといふ。
それでもオーディションに合格しないと、ギャラなしでもステージに上がれず、
ギャラを貰えるほどのプレイヤーは土日に登場するといふ。
また、そこは日本でサッポロビールのテレビコマーシャルに使われたことがあったそうだ。

BBキングの店で、そんなことを思い出していた。

それよりも以前にメンフィスで、昼間は小泉首相も訪れたエルビス・プレスリーの館、
グレースランドを訪れた。そこにはプレスリーが眠る墓があり牧
場もあった。



ミリオンセラー記念のレコード盤は無数とも
思えるほど長い廊下の壁にかかっていた。
プレスリーは、車も飛行機もピンクに塗った。
メンフィスにはスーパーマーケット方式を発明した
クラレンス・ソンドースの館、ピンクパレスがある。
それは文字通りピンクである。

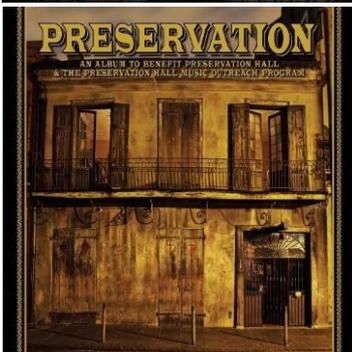


夜は、BBキングと書かれたネオンを掲げた店に入った。
その頃、日本では、BBクィーンズが「おどるポポコリン」をヒットさせていた。



これがそうかといえるのは、ニューオーリンズでフレンチクォーターのプ
リザベーションホール。

最初に訪れたのは 1980 年代初め。



木造 2 階建てだが客を入れるのは 1 階、椅子席はなし、板張りの床にじ
かに座った。

仕事をすませた後、なにはともあれプリザベーションと
食事もとらずに、入れ替えを待つ行列の先頭に 1 時間近く並んで、
最前列中央に陣取った。演奏者と客席は同じ高さ、
手を伸ばせば、椅子に腰かけたピアノ弾きの膝に触れるほど。
プリザベーションホールの入場料 2 ドルをボール箱に入れる。
「聖者が街にやってくる」のリクエスト料は 5 ドル

というのが面白かった。

そのときのホテルは、フロントを出ると、そこはバーボンストリートというソネスタであった。ソネスタは、廊下を歩くと床がギシギシ鳴った。ワイキキのサーフライダーと似たような感じ。

それから数年後、プリザベーションホールを再訪したときには、木造平屋、板張りの床はそのままであったが椅子が置かれていた。そのときは、ハローウィンで、フレンチクォーターはバーボンストリートを中心にデキシールランドが溢れていた。そのときには、地元で迎え入れてくれた団体が、レストランの2階を借り切って、ザイデコにウォッシュボード（洗濯板）が入ったバンドを呼んでくれた。興に乗ってくると客にウォッシュボードをこすらせ、さらに興に乗ると、白いテーブル・カバーを手にみんなで振りながら輪になって踊った。

5年前の暮れ、ロックフェラーセンターのラジオシティ・ミュージックホールでクリスマススペクタキュラーを観劇。クリスマスイブは、往年の名アルトサクソ奏者、チャーリー・パーカーのニックネーム、バードに由来するバードランドで、ジャズとコントを楽しんだ。



BBキングの死去の報に接して、城山観光ホテルで盛大に行った50周年記念の集いで、BGMに懐かしい曲を流してくれたあなた宛てに、とりとめもなく書いてみたくなった。

=====

西山 和宏

mfikazu@tkg.att.ne.jp

tel 03-3814-0360

=====